

薬連ハイライト

本田あきこ出陣式

令和元年7月4日(木)、第25回参議院議員通常選挙が公示され、本田あきこ候補の出陣式が東京・品川で行われた。



また、街宣車1・2が沖縄県を除く熊本県と九州各県を選挙期間中の17日間動くため、スタート地点となる熊本県及び福岡県にてそれぞれ出陣式が行われた。

本田候補が街宣車1で街宣活動する熊本県での出陣式には、岸田文雄自由民主党政務調査会長並びに熊本県選出の国会議員、熊本県議会議員等が、九州

ルートの街宣車2の出発地である福岡県での出陣式には、山本幸三衆議院議員ほか県議会議員等が応援に駆け付け、激励の言葉をいただいた。



もとゆき便り

骨太の方針2019

自由民主党组织運動本部本部長代理
参議院議員・薬剤師
藤井もとゆき

通常国会は6月26日に閉幕、衆参同時選挙も取り沙汰されましたが、当初の見込みどおり、参議院議員選挙は7月4日公示され、選挙戦がスタートしました。投開票前で結果は判りませんが、皆さんの力強い支援は必ずや吉報をもたらすものと信じています。

さて、政府は6月21日「経済財政運営と改革の基本方針2019」(いわゆる「骨太の方針2019」)を閣議決定しました。今回の骨太の方針は、「令和」新時代:「Society5.0」への挑戦」を副題に、人口減少と少子高齢化が進行する新時代において、デジタル化を原動力としたSociety5.0を早期に実現し、より高度な経済社会を築き、人生100年時代を見据え、誰もがいくつになっても活躍できる社会を創るとしています。

医療分野では、マイナンバーカードの健康保険証利用を進めるため、診療時の本人確認と保険資格確認を可能として、2021年3月から本格運用を始め、2022年度中に概ね全ての医療機関等での導入を目指し、読み取り端末等の早期整備を十分に支援するとしています。また、全世代型社会保障への改革のため、70歳までの就業機会の確保、疾病予防・介

護予防の推進、人口減少下での地方施策の強化等を進めています。

医療提供体制については、病院と診療所の機能分化・連携等を推進しつつ、かかりつけ機能のあり方を踏まえ、かかりつけ医・かかりつけ薬剤師等の普及を進めるとともに、医療機関へのかかり方の啓発を行うとしています。また、オンライン診療の実情を踏まえて診療報酬における対応を検討するとともに、オンライン服薬指導の実施の際の適切なルールを検討することも明記されています。

更に調剤報酬について、2018年度報酬改定の影響の検証等を行いつつ、地域におけるかかりつけ機能に応じた適切な評価や対物業務から対人業務等への構造的な転換の推進等、2020年度報酬改定に向けて検討し、併せて、医療機関及び薬局における調剤の実態や報酬体系を踏まえ、調剤技術料の適正な評価に向けた検討を行うとしています。



藤井議員に関するご意見・ご要望等がございましたら、全国藤井もとゆき薬剤師後援会(下記アドレス)までご連絡くださいますようお願いいたします。

zenkoku@m Fujii.jp